

立憲民主党

岡田
かつや



[プロフィール]
1953年四日市生まれ。東大法学部卒業後、旧通産省を経て、90年衆議院議員初当選。当選10回。「政権交代可能な政治の実現」という信念を貫き、98年民主党を結成。幹事長、代表などを歴任し、2009年衆院選で政権交代を実現。民主党政権では外相、与党幹事長、副総理を務める。党の再建を目指し、2015年民主党代表、16年民進党代表に就任。前回選挙での党分裂を乗り越え、2020年新たな立憲民主党結党。党常任顧問、予算委員会と外務委員会所属。

議席伯仲実現で 緊張感ある政治を

コロナ対応の混乱や安倍総理の公私混同。国民不在の政治は、総理大臣の交代では変わりません。この総選挙で野党の議席を大幅に増やし、**与野党伯仲の状態を作り出すことが政治を大きく変えるのです。**

これまで最大野党の代表や幹事長、民主党政権の外相や副総理として国政の最前線で多くの困難を信念を持って乗り越えてきました。正直な政治家として与野党幹部との信頼関係を築いてきました。

その経験と蓄積を生かし、希望に満ちた日本を築くために不屈の精神で政治を進めていきます。私にとって**地元の皆様**の強い支持が**政治活動の原動力**。岡田かつやへの力強いご支援をよろしくお願いいたします。

未来への責任

新型コロナ対策に全力を

安倍・菅政権の新型コロナ対策、多くの誤った決定がありました。**デルタ株の影響を軽く考えたことは、その典型です。**政治のリーダーシップ欠如によって病床数の確保失敗などが繰り返されました。

寒さが本格到来する前に、**第6波への備えが大切です。**政府の誤った決定や対応の混乱がなぜ起こったのか、**第三者による徹底した検証を行い、それを踏まえた改革が必要です。**

次の時代の北勢地域を見据えて

自動車産業と半導体産業。**いま大きな変化に直面しています。**地球温暖化対策で、ガソリン車から電動車への転換が進みます。半導体は経済安全保障の観点から国の関与が高まります。

いずれも、すそ野の広い産業だけに北勢地域の発展や雇用に及ぼす影響は大きく、**よりよい産業政策実現に、しっかりと取り組んでいきます。**

正直な政治

民主主義の危機

安倍・菅政権で国会の審議の劣化が深刻に。憲法に基づく国会召集要求も無視。民主主義の根幹である公文書の隠蔽破棄、改ざんも。

派閥の力で誕生した岸田総理。**表紙は変わっても自民党内の権力構造は同じです。**総選挙で、議席伯仲の緊張感ある政治を実現することが、**民主主義の危機に歯止めをかけるために必要です。**

格差是正と分配重視の経済政策を

所得格差の是正、再分配が消費拡大を通じて経済を成長させるというのが立憲民主党の経済政策の柱。

岸田総理が私たちの主張に近づいたことは評価。しかし、株取引への課税強化について、「当面考えていない」と事実上撤回。子育て世代や所得の低い人々の生活の底上げについての具体策も不十分です。

総選挙を目前にした当面の経済対策が、大きなバラマキになることを懸念。我々野党も含めて、目の前のバラマキを抑え、**将来を見据えた賢明な経済対策が求められます。**

動画配信中 **かつやチャンネル**



You tube



Twitter



Facebook